

「長崎高教組組織建設3か年計画」総目標達成のための全県会議

「3か年計画」をすべての組合員で共有し、長崎高教組を強く、大きくして、教職員の生活と教育を守り、伸ばしましょう

4月1日、年度初め恒例の全県分会長・支部代表者会を、組織強化・拡大に特化して『3か年計画』総目標達成のための全県会議と銘打って開催しました。今年度は「長崎高教組組織建設3か年(2015~2017年度)計画」の完成年度であり、長崎高教組の未来を占う大事な一年となることを分会長・支部代表者で共有し、すべての組合員に浸透させる意気込みで開催しました。全体会と懇親会に43人が参加しました。



発行 長崎市中川2丁目2番5号 長崎高教組会館 長崎県高等学校教職員組合 (095)-827-5882 FAX (095)-826-2976 編集責任者 小田 誠 購読料 一部10円 組合員は組合費に含む メールアドレス naga-kks@fsinet.or.jp

青年教職員と職場からの発言

まず、本部から「3か年計画」策定の意義と目標、「3か年計画」の総目標をあらためて確認したうえで、2年目のとりくみを総括し、完成年度のとりにくみを提起しました。



砂田先生

加して全国の青年教職員と交流し活動を知り、さまざまなことを考えるようになりました。

3月末に長崎高教組・香川県教組青年部学習交流集会に参加する機会があり、香川県教組の青年と交流し、高校以外の先生方の考えを聞くことができ、違う視点を持ち、交友関係が広がりました。高教組に加入することで、つながりと広がり、深まりができました。



中鋪先生

民間企業に勤めているときに高教組の教員採用試験対策学習会と出会い、アドバイスを受けたことから高教組とのつながりができました。

離島は若い先生方が多く、疑問や悩みなど抱えている先生の相談役を担っています。自分も社会保険制度や勤務時間につ



杉本先生

講師として長年学校での勤務していましたが、組合のことはほとんど知りませんでした。定時制高校にお世話になっていたとき、さまざまなことで組合の先生に助けられました。自分のことで直接交渉をしてもらったこともあり、管理職の対応がそれまでより丁寧になっていくことに気付きました。組合に入らんと

その後、中学を受験して昨年採用になりましたが、継続して高教組にお世話になっていきます。初任者は余裕がありません。学校の事情などわからないことばかりだけど、聞くことができませんでした。愚痴を言う場もない状況だったので、初任者で病休に入っている人もいます。早い段階で、若い人に声をかけて、分からないことが聞けるような場をつくってほしいと思っています。



石橋先生

3月に定年退職になりました。ここ数年で5人加入してもらいました。自分の周りに組合員が少なくなってきたことに危機感を感じて、組合員を増やさなければいけないと思って声をかけ始めました。

最初は声をかけるのもドキドキだったのですが、声かけ対話を続けていくうちに、組合に入る人が増えてきました。特別支援学校の先生方にもっと加入してもらって、特支の子どもたちが学びやすい、先生方が働きやすい学校をつくってほしいです。



全教共済春募集

5月末まで

新採者など若手教職員に勧めましょう



ワークシヨップ1 「声かけと対話」

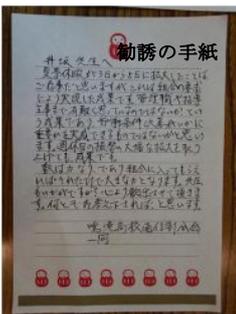
昨年度に引き続き、参加者自身が討論に加わり、実際に体験するワークシヨップを実施しました。他の人が「声かけ」をしているところを見たり、実際に体験するの

ワークシヨップ1は「声かけと対話」をテーマに、執行委員2人による、声かけ資料を使ったいくつかの状況での「声かけ」を見てもらったのち、4人グループの中で「声かけ対話」を実践し

ワークシヨップ2 「今すぐ出来る歓迎、勧誘活動」

ワークシヨップ2は今すぐ出来る歓迎、勧誘活動」をテーマで行いました。まず、グループ内で「心に残った歓迎や勧誘」を発表してもらいました。各グループで出された意見をいくつか紹介しました。

①異動が決まったときに歓迎の電報、レタックス、フアクシミリももらった。②分会員紹介や歓迎メッセージが机の上に置いてあった。③分会で食事会や歓迎会を開いてもらった。④新転任者オリエンテーションで、組合からの説明の時間があり、説明してもらった。⑤職員一同の歓迎の言葉と生徒が書いたメッセージが机の上に置いてあった。



夜は交流会で元気と勇気を満タンに

夜は、会場を「ホテルセンリウ」に移し、交流会を行い、楽しいひとときを過ごすと同時に、各支部からの報告をうけて、あらためて今年一年、精一杯やろうと決意を新たにしました。

